

タイ王国農業省との覚書締結調印

タイ王国では、農業振興が国の最も重要な政策の1つとされ、相当な力が注がれています。

この度その一環として、食糧の増産、農業環境の改善、農業指導者の育成に関し、タイ王国の国費奨学金でもってわが国の大学との共同研究と学術交流が促進されることになりました。

その大学として、タイ農業省から、本大学をはじめ京都工芸繊維大学、山口大学、立命館大学の4大学が選ばれました。

これに伴い、本大学は去る9月9日(火)立町キャンパスにおいてタイ王国農業省と覚書の締結調印を行いました。



本大学では、5年前の工学部バイオ・リサイクル学科設立当初から西条農業高校、庄原実業高校、吉田高校農業科などの生徒受け入れ等を通じて農業教育に力を注いできました。

また、30年前から教育課程での農業実習の実施や20年に及ぶタイ王国との学術交流の実績等が評価され、今回の選定につながったものと思われます。

今後、タイ王国農業省から主に博士学位候補研究生を本大学に受け入れるとともに、タイ王国に教員や大学院生を派遣することによって、共同研究や学術交流を促進する予定です。

当面、年1~2名の研究生を2~3ヶ月間受け入れ、本大学からも1ヶ月程度研究者を派遣します。

そして、5年間で農業関係の博士数名を育成する予定です。

これらのことを通じて、本大学においても農業教育、環境教育、語学教育、理科教員の育成等に役立てることとしています。

